

研究機関:広島大学

研究課題名

血流依存性血管拡張反応(FMD)検査と腸内細菌叢の代謝物(TMAO)との関係に関する研究

研究責任者

未来医療センター センター長 東 幸仁

研究期間 2018年10月17日(承認日)から2026年12月31日(解析期間等含む)

対象者

2017年1月から2025年12月の間に広島大学循環器内科でFMD検査と血液検査を受けられた患者。

意義・目的

いわれています。腸内細菌叢の代謝物である TMAO の血中濃度が高いと心血管病の発症リスクが高いことが報告されております。動脈硬化の初期段階には血管内皮機能の障害が起こることが知られています。血管内皮機能を臨床的に検査する方法として FMD 検査が